

テーマ 「おうち」 の えほん

しよめい	ちよしゃ	しゅっぱんしゃ	せいきゆうきごう	ないよう
ちいさいモモちゃん2 ルウのおうち	松谷 みよ子／文 中谷 千代子／絵	講談社	SEホン	「ルウなんていない。おうちにかえりなさい。」このごろとってもいじわるなモモちゃんが、おうちのないルウにいます。ルウは、あかちゃんのときからなかよしの、くまのぬいぐるみ。すこして、ルウをさがしにいくと、ルウはどろんこになって、おうちをつくっていました。
はっばのおうち	征矢 清／さく 林 明子／え	福音館書店	SEホン	さちがにわであそんでいると、あめがふってきました。でも、だいじょうぶ。はっばのおうちであまやどり。そこに、かまきりがはいつてきました。ひらひらひら、もんしろちょうも。いろいろなむしがやってきます。みんなもこんなけいけんをしたことがあるかもしれないね。
トヤのひっこし	イチンノロブ・ガンバートル／文 バーサンスレン・ポロルマー／絵 津田 紀子／訳 福音館書店	福音館書店	Eホン/ホ	はるのおわりにトヤのいっかはひっこしのじゅんぴをはじめました。おかあさんはゲルのほねぐみはずしています。らくだもやぎもひつじもみんなでだいどうです。ながいきよりをいどうし、なつごろにみずもくさもたくさんあるばしょであたらしくゲルをたてました。
びーばーくんのおうち	イングリット、ディーダー・シューベルト／著 にれ けいこ／訳	星の環会	Eホン/シ	びーばーくんはあたらしいおうちをつくっているとちゅう、やねからおちてけがをしてしまいました。はりねずみくんとくまくんはけがのいたさよりもおうちのしんぱいをしているびーばーくんをやすませ、もういちどおうちをつくってあげることにしました。
人形の家ですんでいた ネズミ一家のおはなし	マイケル・ボンド／文 エミリー・サットン／絵 早川 敦子／訳	徳間書店	Eホン/サ	ネズミの一家(いっか)が人形(にんぎょう)の家(いえ)で幸(しあわ)せにくらしていました。家はお金(かね)もちのはくしゃくのおやしきにあったので、食(た)べ物(もの)にこまることはありませんでした。ところが、あるひ、人形の家はたいへんなことになってしまいます。一家はすむところをなくしてしまったのです。
ぼくの家から海がみえた	小林 豊／作・絵	岩崎書店	Eホン/コ	ぼくたち一家(いっか)は海(うみ)のにおいのするまちへひっこしてきました。おとうとがうまれ、おとうさんもおかあさんもしごとをみつけはたらきました。家(いえ)をもつことがぼくたちのゆめになりました。夏(なつ)になりアンズの木(き)に実(み)がなったころ、ぼくたちの家ができあがりしました。